

席書会

国語主任 宇田川 牧子

冬休み明けの恒例行事、席書会が1月12日(火)、13日(水)に行われました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆です。席書会が始まると、鉛筆や筆をもつ真剣な表情の子どもたち。お手本をよく見て、一筆一筆に丁寧に書きあげます。普段、ノートに文字を書くときと違い、「失敗できないぞ」という緊張感から、一字書くごとにため息がもれます。完成すると、力を出しきって嬉しそうな笑顔があふれました。パソコンの普及により文字を書くことが少なくなった社会に変わりつつありますが、子どもたちにとって、文字を書くことの楽しさやよろこびを味わうことができた席書会でした。校内書き初め展には、多くの方々に鑑賞していただきました。ありがとうございました。



道徳地区公開講座

道徳主任 伊澤 正行



1月16日(土)に、全学級で道徳の時間を公開しました。道徳性を高めるために必要な力を育むために、自律、正直、勇気、友情、生命尊重、責任、家族愛などについて、子ども達が話し合い、学び合う姿をご覧いただきました。

また、「こども支援センターげんき」から、主任指導主事 御手洗 暁 先生をお招きし「こどものこころの発達と道徳」について講演していただきました。道徳性は学校教育だけで身に付くものではなく、幼児期より家庭で子どもを勇気づける態度や言葉がけを行い、自己肯定感を高めていくことが大切だそうです。成長するに従い、大人に反発したり、社会的

な規範に疑問を抱いたりします。それは不道徳なことではなく、望ましい発達を遂げるために必要な過程だそうです。大切なのは、子どもが「自分が大切にされているのだなあ」と感じられるように、大人が見守ることだそうです。

学校教育で特に期待されることは、時代の要請により変わります。つい先ごろまで学力低下が危惧され、昨今は東京オリンピック開催に向けて体力向上が叫ばれています。しかし、「知・徳・体」の全において子ども達のよさをのばしてこそ、学校教育の責任を果たすことができると考えます。

梅島小学校では、平成23年度に全国小学校道徳教育研究会の全国発表大会を行いました。梅島小学校には、子ども達の道徳性を高めるために必要な力が培われています。今後も各ご家庭や地域の皆様の力添えを頂きながら、子ども達がよりよく成長していけるように日々の教育活動に取り組んでまいります。

